

静岡市津波対策事業（防災対策課）

1 津波避難ビル追加指定（平成23年度～）

○平成23年5月21日に行われた緊急津波避難訓練のアンケートを6月末までに集計し、候補地を選定。7月から現地調査及び所有者への交渉を行い、緊急津波対策事業で53施設追加指定を行った。

津波避難ビルの追加指定については、今後も引き続き行っていく。

	平成22年度末 時点指定数	平成23年度 追加指定数	内 民間施設	内 公共施設	平成24年度 指定解除数	平成24年度 指定数	現在指定数
駿河区	4	23	11	12			27
清水区	53	30	7	23	△2	6	87
合計	57	53	18	35			114

【かわはら会館】



【アンビアクシー】



○津波避難ビル整備を行う民間施設への助成制度創設（平成24年度～）

津波避難ビルの指定を促進するために、施設には不必要な設備（外階段等）を近隣住民のために設置する所有者に、「静岡市津波避難ビル整備事業費補助金」を交付する。（平成24年8月～）

<平成24年実績>3施設、約17,000千円の交付

清水聖母保育園（外階段、屋上フェンス）

用宗公民館（外階段、屋上フェンス等）



2 各標識板の設置（平成23年度）

① 津波避難ビル標識板

新規に指定した避難ビルより所有者等との協議が整い次第順次設置を進めている。
また昨年度、既存の津波避難ビルの老朽化標識板の取替及び増設を実施した。

【津波避難ビル標識板】



【津波避難ビル標識板（小・中学校）】



② 海拔表示標識

〇日頃から海拔を意識してもらい、いざという時の津波避難の目安となるように、道路照明灯や電柱などへ約3,000枚設置した。（平成24年2月まで）

【11月25日設置1枚目（清水駅みなと口）】

【12月14日蒲原市民センター前】



〇 避難地標識板・案内板への海拔表示 72基設置（平成23年11月末）

〇 コンビニエンス・ストア5社の協力により沿岸部の58店舗へ設置（平成23年8月末）

【避難地看板への海拔表示】

【コンビニ海拔表示】



③ 津波警告標識板

旧看板の取替え。53基の内⇒33基取替設置（平成24年1月末まで）

④ 津波避難ビル案内板

近隣の津波避難ビルを掲載した案内板を新規に27基設置（平成24年3月31日まで）

【津波警告標識板】

【津波避難ビル案内板（案）】



3 津波避難場所に関する協定（平成23年度）

緊急避難場所として駿河区の東名高速道路のり面を使用できるように、中日本高速道路㈱と「津波緊急避難における高速道路区域の一時使用に関する協定」を平成23年11月9日に取り交した。

協議は7月中旬より中日本高速道路㈱東京支社 静岡保全・サービスセンターと行った。

また、清水区の興津地区の東名高速道路のり面について平成24年2月29日に中日本高速道路㈱東京支社 富士保全・サービスセンターと協定を締結した。

【11月9日協定締結式】

【12月4日避難訓練】



入口看板



ハイウェイみどりの里プロジェクト活用



4 津波に関する講演会の開催（平成23年度）

第1回 7/30 グランシップ 静岡大学防災総合センター 原田賢治専任准教授

「津波災害の特徴と津波防災対策～東日本大震災の津波災害から対策に向けて～」

約400名の市民参加

第2回 11/20 市民文化会館 静岡大学防災総合センター 牛山素行専任准教授・副センター長

「自然災害と避難について」 約350名の参加

第3回 12/18 市民文化会館 群馬大学工学部 片田敏孝教授

「想定外を生き抜く力を育む防災教育～釜石市での津波防災教育に学ぶ～」

約750名の参加

【第1回】



【第3回】



5 住民への情報周知（平成23年度～）

① 津波避難ビルマップの作成（平成23年度）

市で指定した津波避難ビルの位置が分かるように津波避難ビルマップを作成し、平成24年4月1日付で駿河区、清水区に家庭に全戸配布を、葵区には組回覧を行った。



② 海拔（地盤高）情報提供システム（平成23年度）

ウェブサイトから、市民向けに静岡市内の海拔情報を提供するシステムを構築した。

③ 「南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域等」の住民周知（平成24年度）

- ・平成24年8月29日に内閣府から公表された情報を連合自治会長会議などで説明を行った。（平成24年9月～10月）
- ・組回覧にて全市民に対し周知を行った。（平成24年10月15日）
- ・海拔（地盤高）情報システムに情報の追加を行い、詳細情報を周知。（平成24年12月14日）
- ・「津波に関する避難方向等の検討会」の中で想定のことについて説明（平成25年1～3月）

浸水深

到達時間



6 同報無線子局の整備 (平成23年度～)

沿岸地域において、特に同報無線の放送が聞き取りにくいとされた区域を調査し、駿河区3箇所、清水区2箇所を選定し同報無線子局の増設を行った。(平成23年度)

平成24年度も引き続き、駿河区2箇所、清水区3箇所の増設を行った。

7 津波避難タワーの建設 (平成24年度～)

平成24年8月29日に国(内閣府)より公表された「南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域等」を踏まえ津波避難が困難な地区へ津波避難タワーを順次整備する。

(平成24年度建設)

建設場所：駿河区下島地区・西島地区、清水区三保地区

建設スケジュール：地質調査 12月

発注準備 1月～2月

設計・建設 3月～10月頃

現在実施している「津波避難対策計画作成業務」により、今後の施設整備計画を作成する。

8 津波に関する避難方向等検討会 (平成24年度)

「南海トラフ巨大地震による津波高・浸水域等」を踏まえ、各連合自治会単位より避難方向等に関する意見を収集し、津波避難対策計画策定に活かすため検討会を開催。(平成25年1月～3月)

1月11日：三保地区

1月18日：折戸地区

1月22日：長田南地区

1月24日：久能地区

1月29日：駒越地区

1月31日：不二見地区

2月12日：由比・蒲原地区

2月14日：宮竹地区

2月20日：岡地区

2月21日：辻地区

2月26日：興津地区

2月28日：袖師地区

3月 1日：川原地区

3月 5日：大谷地区

3月18日：中島地区(西島)

3月19日：中島(中島中)

3月26日：清水地区

3月27日：入江地区

3月28日：浜田地区

平成25年3月31日現在 18地区終了



9 防災会議津波対策検討専門委員会（平成24年度～）

津波対策に関する課題を調査・検討するために防災会議に専門委員で組織する専門委員会を設置。

- ・委員構成 静岡大学防災総合センター増田教授・原田准教授
富士常葉大学 阿部准教授
駿河区・清水区各自主防災連絡会より選出 清水区遠藤日出夫、芦澤庄司
静岡市PTA連絡協議会より選出 東良恵
- ・開催予定 3月15日実施：第1回 5月：第2回 7月：第3回

10 国道150号高架橋の津波避難場所活用に関する社会実験（道路計画課、防災対策課）

国道150号高架橋（建設中）を津波避難場所として活用できないか、地域防災訓練を絡めて社会実験を実施。

- ・実施機関：静岡市避難及び早期道路啓開検討協議会（静岡市、国土交通省中部地方整備局、静岡県警察、静岡大学、一般社団法人静岡建設業協会、中島・大谷学区自治会連合会）
- ・実験日：平成24年12月2日（日）
- ・参加人数：約1,200人

